

2024 年 7 月 3 日

高次救命治療センターの外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「四肢・骨盤単独外傷が全身状態や予後に与える影響」 への協力をお願い

高次救命治療センターでは、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2014 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日の間に、当科において、四肢・骨盤骨折に対して治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～ 2029 年 6 月 30 日

研究目的・利用方法：

一般的に四肢外傷は生命予後に直接的に関与しにくいとされていますが、骨盤骨折を含んだ四肢外傷を複数合併する際の全身状態（輸血必要量や生命予後など）に与える影響ははっきりしておらず、今回はこれを明らかにします。

四肢・骨盤外傷を複数部位受傷した患者さんにおいて、単独部位の患者さんとの差を比較して検討します。

研究に用いる試料・情報の項目：これらは全て日常診療で実施された項目です。

年齢、性別、診断名、病歴、既往歴、家族歴、投薬歴、身長、体重、BMI

合併損傷を含む画像所見（レントゲン、CT、MRI、血管造影所見）

来院時からその後のバイタルサインの経過 当院加療前情報（紹介状や搬送記録）

検査項目：血清 AST、ALT、LDH、BUN、CRE、BNP、トロポニン I、CPK、CRP、白血球数、HbA1c、血小板数、フィブリノーゲン、FDP、ATIII、アルブミン、総蛋白、d ダイマー、血糖値、総ビリルビン、直接ビリルビン、尿酸、総コレステロール、HDL コレステロール、LDL コレステロール、中性脂肪、ヘモグロビン、ヘマトクリット、ナトリウム、カリウム、クロール、動脈血液ガス、乳酸値、白血球分画、各種感染症検査結果

治療経過（輸血必要量、血管造影検査の施行と治療、各種手術内容とその結果、血液浄化療法の併用、人工呼吸装着期間、閉鎖式持続陰圧吸引療法の使用、手術内容）

各種スコアリング（ISS、AIS、Ps、SOFA スコア、APACHE II スコア、急性期 DIC スコア）

予後（死亡の有無、退院後の ADL）

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2024 年 7 月 10 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合に

は研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
氏名：三宅喬人

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 高次救命治療センター
電話番号：058-230-6448
氏名：三宅喬人

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp